

● 診療科の特色

1. 入院診療

当院には精神科の入院病床および病棟がないので、入院診療を行っていない。ただし、精神科入院加療が必要と判断される患者様には、適切な精神科病院への紹介を行っている。

2. 院内診療（コンサルテーション・リエゾン精神医学、サイコオンコロジー）

- 1) 精神科は医師数が少ないため身体疾患入院患者様の治療を優先的に行っている。すなわち、身体疾患の入院加療中に生じる様々なメンタルヘルス不調（強い不安、抑うつ、せん妄など）に対して専門的な診察、合理的薬物療法、精神療法を行っており、担当スタッフと連携して、患者様のメンタルヘルスの回復、および生活の質の改善を支援している。
- 2) 当院の緩和ケアチームの精神腫瘍学（サイコオンコロジー）担当医として、悪性疾患の入院患者様の良好なメンタルヘルスの維持に注力している。
- 3) 他院精神科において、従来から精神疾患（統合失調症・躁うつ病・うつ病・アルコール使用障害・ストレス障害など）で治療中の患者様が、身体の病気のため当院への入院が必要になった場合において、精神科治療が途切れてしまわないよう、かかりつけ精神科の主治医と連携しながら継続診療にあたっている。

3. 外来診療（一般成人臨床精神医学）

メンタルヘルスの不調は、多くの人が抱える身近な問題であり、WHO の報告では、生涯に 4 人に 1 人が精神疾患に罹患しうると言われている。当科では、うつ病、不安症を中心として、多様な精神疾患に対する診療を、再診中心に行っている。基本は一般精神科外来であり、専門外来（児童思春期外来・重度摂食障害・認知行動療法・家族療法・精神分析など）は行っていない。なお、当院は急性期総合病院でありながらも、常勤精神科医師が 1 名である為、精神科診療については、上述のように病棟活動に主軸を置いている。よって、外来診療は、再診患者様を中心としており、院外からの精神科初診を休止している。

● 入院診療実績

R6(2024)年度 精神科初診(院内コンサルト・外来) 主要10疾患 疾患別臨床統計

		ICD-10	患者数
1)	症状性を含む器質性精神障害	F0	120
2)	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	F1	38
3)	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	F2	31
4)	気分障害	F3	59
5)	神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害	F4	103
6)	生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	F5	18
7)	成人の人格及び行動の障害	F6	3
8)	知的障害(精神遅滞)	F7	12
9)	心理的発達の障害	F8	19
10)	児童期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	F9	21
			424

● 研究業績

なし